特集1

まちかど座談会から

問▼秘書課広報広聴係（☎〈71〉2202）

昨年7月から10月にかけて、各地区公民館にてまちかど座談会を開催しました。合わせて10会場で、参加者数はのべ430人でした。

■概要

●開催日／場所／参加人数
7月24日／作野公民館／37人
26日／南部公民館／46人
31日／北部公民館／61人
8月6日／西部公民館／43人
8日／東部公民館／38人
9月26日／昭林公民館／46人
10月1日／桜井公民館／56人
8日／二本木公民館／29人
24日／中部公民館／47人
30日／安祥公民館／27人

●時間　午後7時～9時

●内容　市長による市政報告と、市政全般についての質疑応答の2部制。市政報告は、主に新美南吉のまちづくりと市政運営について

＊主な質疑応答＊

■北明治地区の公園整備

◆質問　北明治に念願の公園ができます。予定地は新美南吉が通った道沿いです。そこで南吉をテーマにした設備や、昭和公園につながる遊歩道を設置してはどうでしょう。地元では多くの意見が出て、盛り上がっています。

◆回答　ご指摘の場所は、公園要望の声が高いですが、公共施設の代替用地という案もあります。現在、用地を買収している段階ですが、地域の合意形成がかなえば、なるべく広く確保したいと考えています。面積が決まり次第、整備のあり方をワークショップで検討していく予定で、平成30年の完成を目標にしています。

■あんくるバスの路線設定

◆質問　地元に高齢者が多くいます。皆さんの足はあんくるバスですが、各所をぐるぐる回るため、目的地まで時間がかかります。時間のかからないコースを考えてほしいです。

◆回答　あんくるバスは、各地域の要望があるため、点在する集落を回りながら走らせる必要があります。また、運転手の勤務に関する法的制約もあります。出発点から終点まで90分運転して、うち10分の休憩が必要です。時間ギリギリのコース設定のため、少し伸ばすと、上限を超えてしまいます。路線を増やせば、その分の経費も増大します。

　4年後に、更生病院跡地に集客機能のある拠点施設ができる予定です。皆さんが車で来たら、病院があった頃のように混み合ってしまいます。10月にバス路線を見直しますので、拠点施設を考慮し、今回の意見も参考に、新路線を設定していく考えです。

あんくるバス

本市で開催した南吉スタンプラリーは、半田市にも協力していただきました

■新美南吉の取り組み

◆質問　新美南吉を、市外・県外に安城市をPRするきっかけにしてほしい。一過性で終わることなく、第2・第3のPR策を何か考えていますか。

◆回答　半田市には新美南吉記念館や矢勝川（やかちがわ）の彼岸花がありますす。そこで、本市も壁画やモニュメントなどを少しずつ増やしてきました。また、現在の中心市街地周辺の区画整理が進めば、道が広がります。そこで置物を設置し、たどると物語が展開されるようなものを考えています。

　先日、ドイツのメルヘン街道へ行きました。そこは、グリム童話の世界にちなんだまちが連なり、世界へPRしていました。半田市とも、それぞれ特色を活かし、南吉ファンが両市を訪れるようにしたいです。本市には三河安城駅、半田市の近くには中部国際空港があり、交通の利便性は高いと考えます。互いに連携し、安城と半田をセットで、新美南吉観光ができるよう、長期的な取り組みを考えています。

■給食費の負担

◆質問　市の支出では、教育費が3番目に多いとのこと。現在、給食費は市と保護者が半々の負担ですが、市が全額負担してはどうでしょうか。

◆回答　学校給食は、保護者が食材を、市が調理場の建設などを負担するというのが基本的なルールです。保護者が、子どもの食べるものに関心を持つことが大事と考えています。保護者負担を無くすと、無関心になる懸念もあります。また、食材購入費は年9億円を超えることになり、行政がどこまで負担すべきか線引きが必要です。適正な給食費をいただき、より良い給食を提供するのが、私たちの使命だと思っています。

■成人式の開催場所

◆質問　来年20歳になる娘がいます。周囲に話を聞くと、成人式をデンパークで開催するそうにしました。

昨年の成人式

■小・中学校体育館の耐震化

◆質問　東日本大震災の時に、被災地の小学校体育館の天井が落下したと聞きました。本市の小・中学校の体育館は、平成22年に耐震化が完了したそうですが、避難所として使えるのか疑問です。再点検をお願いします。また、各避難所にある20t単位の貯水タンクも、震災時に仙台市内の62校で破裂しました。本市のタンクも耐震対策をしていないと思います。効果的な対策について、大学などへ研究委託をしてはどうでしょうか。

◆回答　小学校などの避難所の耐震化は終わっています。また、震災の話を私たちも聞いており、天井などを今年度予算で調査しています。順次、危険性のある施設を補強する考えでいます。

　貯水タンクは、直下型の揺れと、沖合のトラフの揺れとでは、破裂の仕方が違うと思います。被害の度合いを、想定・研究すべきであり、強度も調査する必要があります。

　これから自治体シンクタンクを設置する中で、大学とのつながりも考えていますので、受けてくださる大学があれば声を掛けたいと考えています。

特集1
まちかど座談会から

問▶秘書課広報広聴係
（☎〈71〉2202）

■消防団員の確保

◆質問　消防団員の確保に苦労しており、団員や町内会で勧誘活動をしていますが、効果が上がりません。市内には約7万世帯ありますが、消防団は30分団、404人の定員確保が必要です。しかし、市全体での人口分布、世帯分布と団員数にばらつきがあるので、見直してほしいです。消防団の存在意義は大きいので、具体的な対策、行動を期待します。

◆回答　団員数を定めた条例はありますが、時代に即して見直せばいいと考えます。他地域でも同じ問題を抱えているので、消防団全体の見直しをどこかですべきと思っています。

　まずは各地域で、人が集まりやすく、地域が納得する編成について話し合ってもらいたいです。ある程度把握でき、もう少し具体的な相談となれば、私たちも話し合いに参加できます。また、町内会での勧誘の場に市職員などがお伺いして、勧誘の手伝いをさせてもらっています。実績が上がった例もありますので、声を掛けてください。

病院も会場となった昨年11月の防災訓練

■地域防災訓練について

◆質問　町内会で防災訓練をしていますが、マニュアル化されていて毎年同じ内容です。市の防災訓練も同様で、パフォーマンス訓練になっています。実際の被害を想定した訓練になるよう、助言をいただけませんか。

◆回答　日頃の訓練が本当に役立つのかという思いはあるかもしれません。しかし、訓練の成果は有事の際に必ず役に立つと考えています。

　南海トラフ地震の被害が想定されていますが、まだ把握できていません。現在、被災地で支援活動をした人たちの意見を聞きながら、災害時の医療体制を全面的に見直しています。秋の防災訓練（※）では、安城更生病院や八千代病院、市医師会などと連携し、医療コーディネーターを活用した訓練を考えています。

※昨年11月に開催しました。

■野焼きについて

◆質問　野焼きを許可してほしいです。焼却場への持ち込みは大変ですし、市のごみ減量に反するのでは。

◆回答　平成10年頃、野焼きから有毒物が発生するとして全国的に自粛傾向になりました。それを機にクリーンセンターに持ち込まれる草の量が増大しています。

　野焼きは、農業でのやむを得ない焼却などで例外的に認められているものもあります。しかし、近隣住民から洗濯物が臭くなるなどの苦情があると、市としては注意せざるを得ず、現に野焼きに対する市民からの苦情も非常に多いです。法令で許される焼却であっても、周辺住民への配慮が必要となります。

■クリーン推進員への用具を

◆質問　クリーン推進員リーダーとして、毎日ごみステーションや、その周辺の美化活動をしています。以前にごみをあさる不審者と間違われ、町内会に連絡が入った人や、警察から職務質問を受けた人がいました。

　現在、腕章のみを着用しての活動ですが、ベスト・帽子があれば間違えられないと思います。市からの補助をお願いできませんか。

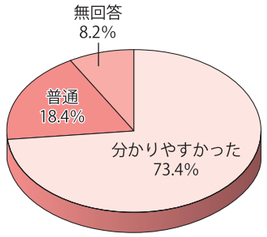
◆回答　本市はごみ減量に力を入れていますので、必要なものはできる限り用意します。なかなかごみ減量が進みませんが、春から消費税が上がることでおそらく市内全域では、消費が若干落ち込むでしょう。その時に、真に必要なものを必要なだけ購入するといった賢い消費を訴える戦略を、担当課へ指示しています。引き続きご協力をお願いします。

クリーン推進員の腕章

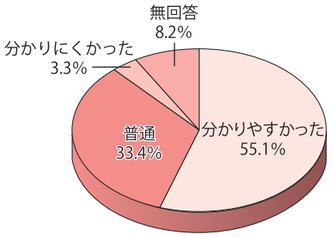
アンケート結果の公表

全ての会場で、当日のまちかど座談会へのご意見などを伺いました。結果は下記の通りです。

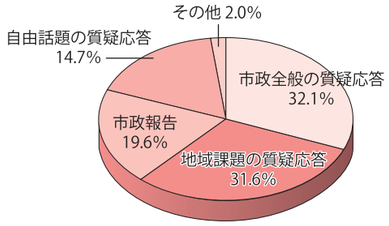
市長の市政報告



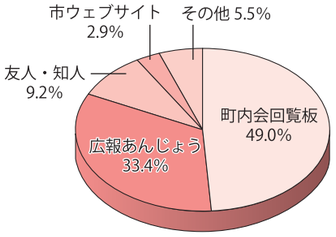
市政全般の質疑応答



今後の座談会で充実してほしい内容（複数可）



座談会の開開をどのように知ったか（複数可）



主な自由意見

- 市長の話が非常に分かりやすく、質疑応答も適切なやりとりだった。
- 市の開発・計画について知ることができた。
- 地域の課題が、さまざまな分野で聞けた。
- 事前に質問事項を集め、回答する方式を取り入れてはどうか。
- 質疑応答の時間を増やしてほしい。
- この座談会に若い世代がもっと参加するような方策を考えてほしい。